



十小だより

令和6年8月29日
第5号
府中市立府中第十小学校

パリパラリンピック開催中！十小もインクルーシブ運動会

連日の暑さ、台風、地震など自然環境に悩まされた夏休みではありましたが、子どもたちは元気いっぱい過ごしていたのではないのでしょうか。テレビでは深夜の時間帯に、パリオリンピックが行われ、素晴らしいプレイに感激した人も多かったことと思います。スポーツ以外の視点では、サステナブルについての取組がクローズアップされていました。地球環境の問題のためにも、エコの推進など考えさせられることが多々ありました。私が担任時代は、気温と水温を足して47度以上あれば水泳指導が可能で、およそ気温25度ぐらいが目安になっていたと記憶しています。今では、日なたで38度など、かつては想像できなかった気温、熱帯気候のような気温になっています。地球環境への配慮は一人一人が取り組まないとなりません。ですから、SDGs（Sはサステナブル）は、学校でも取り組んでいきたいと思っています。中でも、SDGsの目標のうち「11 住み続けられるまちづくりを」には、防災教育も含まれており、なおかつ、女性や子ども、お年寄りや障がいのある人なども暮らしやすい社会の実現を目指しており、まさに、本校が総合的な学習の時間などにおいて重視して取り組んでいるところです。

8月28日からは、パリパラリンピックです。昨年度は、本校に車いすバスケットボールのアスリートの方をお招きし、現5年生が体験をしていました。私も一緒に試合形式で参加させてもらいましたが、車いすをうまく操作もできず、床にあるボールを取ることもできず、いいところはありませんでした。いい経験ができたという満足感があつたことが思い出されます。

今年度の運動会では、日本財団パラサポという団体と連携し、インクルーシブ運動会として、4年生がインクルーシブソーラン（団体としても初お披露目）と6年生が車いすリレーに取り組みます。2種目を取り入れるのは、全国初ということで、手探りの部分も多々ありますが、練習や本番の取組を通して、子どもたちはそれぞれに感じることもあることと思います。保護者や地域の方たちには、勝敗や表現の上手さだけでなく、こういった活動を通して、子どもたちが、インクルーシブなまちづくりに貢献できることや、様々な立場や年齢、性別、国籍、障がいなどの人たちが共に生きる社会の担い手となることを目指していることを、ご理解の上、盛大な応援をお願いいたします。

（今回連携する団体のホームページ <https://www.parasapo.tokyo/topics/115227>）

運動会の練習が始まり、子どもたちは体力勝負の毎日になります。ご家庭では、十分な睡眠と朝食、水分補給の水筒の準備などを整えていただき、元気に練習に取り組めるよう、よろしくをお願いします。

また、練習が続くと、不安を抱えたり、登校を渋ったりするお子さんもいますので、その場合は、担任や管理職、スクールカウンセラーなどに遠慮なく、ご相談ください。

7月の青少対のふれあいコンサートや8月のスクールコミュニティ協議会によるサマースクール、PTAによる花火などに、たくさんのお子どもたちが集まりました。子どもたちを学校と家庭、地域が連携して育てるよい取組となりました。ご協力、ありがとうございました。